

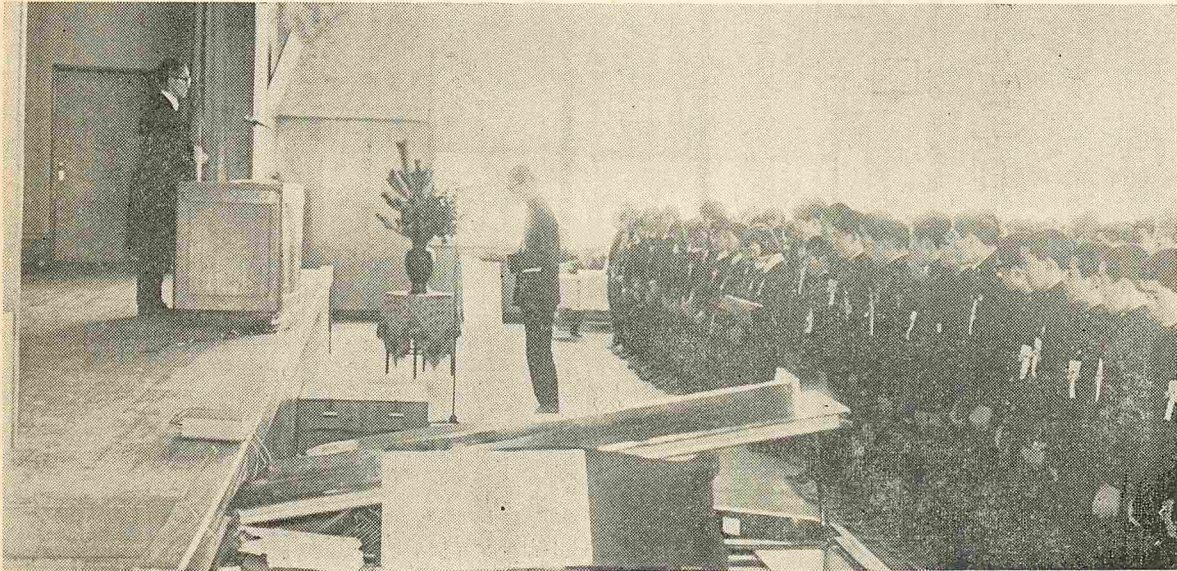
町報 てんのう

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135
編集・企画室 印刷・一日市印刷所 TEL(一日市)38

町のうごき

本籍数	4,139
本籍人口	14,241
世帯数	2,814
住民登録人口	13,343
内 男	6,617
女	6,726

3月1日現在

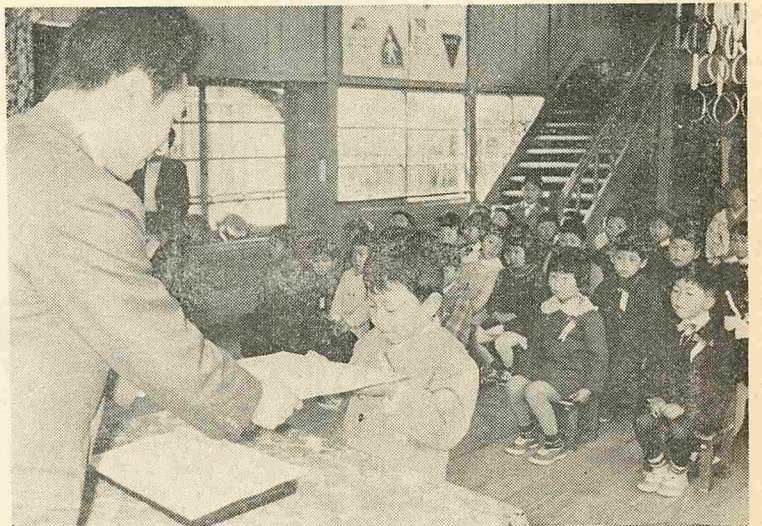


お
別
れ

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
「先生長い間お世話になりました。在校生の皆さんお元気で。私たちは、これからも母校天王中の名をたかめるよう、社会で高校で一生懸命がんばります。」三月十五日、天王中の第二十一回卒業式が行なわれ、三百十六人がク学びやクを巣立っていった。鎌田校長はこの日卒業生に「毎日の生活に計画と反省をもってほしい。心の中へ常に小さな親切、大きな奉仕というのを忘れずにいてほしい。」とはなむけの言葉をおくった
(天王中で)



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
「いままでいっしょに遊んでくれてありがとう。小学校へ行ってもしっかり勉強してください。」と在園児がお別れをいう。小さな子どもの胸にもお別れのさみしさがいっぱいだ。
(町立天王保育所で)



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
町長はきょうは保育所長である。「ハイ」と大きな声で返事をし、ピヨコンと頭をさげ、卒業証書をうけると園児に町長の顔も思わずほころぶ。
(町立天王保育所で)

—3月定例議会終わる—

43年度予算案などを可決

教育委員に渋谷氏

三月定例町議会が三月十二日に開会された。会期を二十六日までの十五日間と決めたあと、十二日に町長の施政方針演説、十三日に一般質問が行われた。今議会上程された議案は、四十三年度予算案三件をはじめ、四十二年度補正予算案二件、町条例の一部改正案六件など合わせて十八案件で、日程にしたがって審議し、いずれも原案どおり可決した。

【一般会計補正予算】今回は最終補正だが、百七十九万九千九百八十九万五千円となった。

【議員の費用弁償の改正】議会の会期中招集に応じ、もししくは委員会に公務のため出席した議長、副議長、議員に費用弁償として月額六千円を支給するといふもの(四月一日から施行)。

【特別職の職員の報酬、日当の改正】条例の一部改正で四月一日から次のように改正される。
 ▼監査委員 月額千円(七百円)
 ▼農委委員長 月額三千円(二千五百円)
 ▼同職務代理人 月額二千五百円(千九百円)
 ▼農業委員 月額二千三百円(千五百円)
 ▼教育委員長 月額三千円(二千五百円)
 ▼同職務代理人 月額二千五百円(千七百円)
 ▼教育委員 月額二千三百円(千五百円)
 ▼選挙委員長 月額千二百円(八百円)
 ▼同委員 千円(六百五十円)
 ▼国保運営協議委員 月額七百円(五百円)
 ▼固定資産評価審査委員 年額三千円(二千六百円)
 ▼幼稚園長 月額六千円(五千円)
 ▼公民館長 月額二千円(千五百円)
 ▼町嘱託医 日額二千五百円(二千円)

【特別職の職員で常勤のものの旅費の改正】旅費と宿泊料の改正で、議員と同じく日当五百円が六百円に、宿泊料県外二千三百円が二千八百円に、県内千八百円が二千五百円に改正(四月一日から)される。

【職員の旅費の改正】職員の旅費も四月一日から日当四百円(現行三百円)に、宿泊料県外二千八百円(同二千三百円)、県内二千五百円(同千八百円)に改正される。

【消防団員の報酬、費用弁償の改正】四月一日から次のように改正される。カッコ内は現行)
 ▼団長 年額八千円(六千円)
 ▼副団長 年額六千円(五千円)
 ▼分団長 年額三千五百円(三千円)
 ▼副分団長 年額二千五百円(二千円)
 ▼班長 年額二千五百円(千五百円)
 ▼団員 年額二千円(千五百円)

【国保条例の一部改正】今回の改正により、国保税の税率は四十三年度分から次のように変わる。(カッコ内は現行)
 ▼所得割 百分の二・二(百分の二・八)
 ▼資産割 百分の十一・四(百分の十七・一)
 ▼被保険者均等割 被保険者一人につき七百九十四円(五百八十六円)
 ▼世帯別平均割 一世帯につき千六百円(千二百五十九円)

また、国保税の納期は、四十三年度から次のように変わる。
 ▼第一期 七月一日から同月三十一日まで。
 ▼第二期 八月一日から同月三十一日まで。
 ▼第三期 十月一日から同月三十一日まで。
 ▼第四期 十一月一日から同月三十一日まで。

【教育委員の任命】吉田新祐教育委員(教育長) 辞任に伴い、欠員になっていた教育委員に渋谷谷助氏(58歳) 二田二一九番の二一羽城中校長)を任命するといふもので、議会の同意を得た。なお、渋谷氏の任期は前教育委員の残任期間である九月三十日まで。四月一日付けで発令するが、渋谷氏は三月三十一日で羽城中校長を退職する。

【賞金】▽一等二万円(一人)▽二等各一万円(三人)▽三等各三千円(五人)▽佳作記念品(若干)

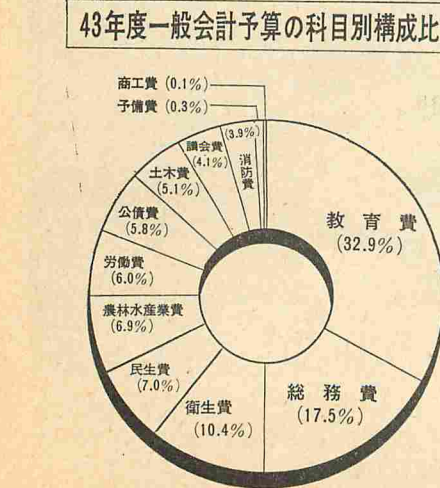
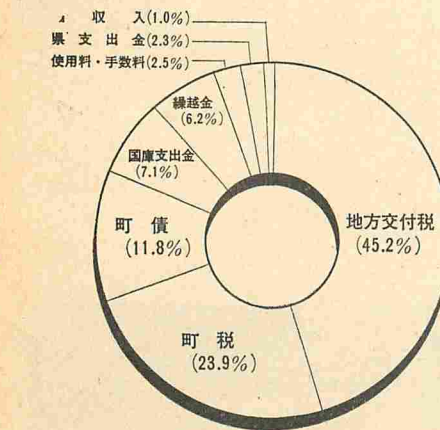
四、発表 五月八日
 五、送り先 東京都千代田区平河町二の六 麹町会館内 明るく正しい選挙推進全国協議会

新しい明正選挙推進協委員

【明るく正しい選挙推進協議会委員】▽会長 後藤春治▽職務代理人 伊藤金政▽委員 安田堅之助、安田末蔵、児玉ハチ、渡部ツナ、三浦ツタ、柏崎イツ、【明るく正しい選挙推進員】児玉長一(天王)、広瀬ミヨ(同)児玉鉄子(同)、石川次男(同)伊藤チヨ(江川)、伊藤清之助(同)、菊地セツ(児玉)、菊地ツナ(同)、桜庭ヘナ(塩口)桜庭徳治(同)、戸田ハル(渋谷)、桜庭セイ子(同)、鈴木

玉子(羽立)、鈴木カネ子(同)安田雄之助(同)、菅生喜兵衛(中羽立)、三浦ユリ子(大崎)三浦兼(同)、三浦了四郎(同)小野克太郎(二田)、早野甚三郎(同)、高橋貞治(同)、佐藤八重子(同)、加賀谷恵一郎(下出戸)、加賀谷ユリ子(同)菊地キョ(上出戸)、菊地石太郎(同)、古山トミエ(同)小野フク(追分)、鷲谷哲男(同)渡部米吉(北野)、武田マツ(出戸開拓)

予算総額(最終)は六千七百七十一万七千円となった。
 【議員の費用弁償の改正】議会の会期中招集に応じ、もししくは委員会に公務のため出席した議長、副議長、議員に費用弁償として月額六千円を支給するといふもの(四月一日から施行)。



参院選挙の標語を募集

明るく正しい選挙推進全国協議会で「参議院議員選挙」の標語を募集しています。

民主主義、議会政治を確立するには、その基をなす選挙が清く、明るく、正しく行なわれることが何よりも大切です。とくに、現下のような内外情勢に対処しなければならぬ今夏の参議院議員選挙においては、このことが重大な意義を持つと言わなければなりません。

こうした自覚を有権者の胸深く訴え、投票行動に役立つ標語をどしどし応募してください。

一、募集締め切り日 四月二十二日(当日の消印有効)
 二、用紙 官製は一枚に一句(一人二枚まで)
 三、賞金 一等二万円(一人) 二等各一万円(三人) 三等各三千円(五人) 佳作記念品(若干)

四、発表 五月八日
 五、送り先 東京都千代田区平河町二の六 麹町会館内 明るく正しい選挙推進全国協議会

43年度一般会計予算の内訳

歳 入

歳 出

単位千円
△は減額

款 項	本 年 度	前 年 度	比 較	款 項	本 年 度	前 年 度	比 較
1. 町 税	46,345	36,895	9,450	1. 議 会 費	8,006	6,984	1,022
1. 町 民 税	12,480	8,314	4,166	1. 議 会 費	8,006	6,984	1,022
2. 固 定 資 産 税	21,701	18,258	3,443	2. 総 務 費	33,907	29,083	4,824
3. 軽自動車税	1,664	1,522	142	1. 総務管理費	22,089	18,354	3,735
4. 町たばこ消費税	7,800	6,200	1,600	2. 徴 税 費	6,814	6,204	610
5. 電気ガス税	2,700	2,600	100	3. 戸籍住民登録費	2,232	2,081	151
旧法による税	0	1	△ 1	4. 選 挙 費	1,360	1,328	32
2. 地方交付税	87,903	72,149	15,754	5. 統計調査費	893	602	291
1. 地方交付税	87,903	72,149	15,754	6. 監査委員費	102	94	8
3. 使用料, 手数料	4,919	4,508	411	7. 防災会議費	67	75	△ 8
1. 使 用 料	4,163	3,897	266	8. 企 画 費	350	345	5
2. 手 数 料	756	611	145	3. 民 生 費	13,671	10,398	3,273
4. 国庫支出金	13,866	7,818	6,048	1. 社会福祉費	3,074	2,387	687
1. 国庫負担金	4,939	4,524	415	2. 児童福祉費	6,667	5,250	1,417
2. 国庫補助金	7,312	2,363	4,949	3. 国民年金事務費	3,929	2,760	1,169
3. 国委託金	1,615	931	684	4. 災害救助費	1	1	0
5. 県支出金	4,376	4,392	△ 16	4. 衛 生 費	20,164	4,025	16,139
1. 県負担金	190	183	7	1. 保健衛生費	4,434	3,024	1,410
2. 県補助金	3,537	3,440	97	2. 清掃	15,730	259	15,471
3. 県委託金	649	769	△ 120	上水道費	0	742	△ 742
6. 財産収入	21	21	0	5. 労 働 費	11,695	11,007	688
1. 財産運用収入	21	21	0	1. 失業対策費	11,564	10,875	689
7. 寄付金	50	2,535	△ 2,485	2. 労働諸費	131	132	△ 1
1. 寄 付 金	50	2,535	△ 2,485	6. 農林水産業費	13,419	9,346	4,073
8. 繰越金	12,000	1	11,999	1. 農 業 費	13,271	9,274	3,997
1. 繰越金	12,000	1	11,999	2. 水 産 業 費	148	72	76
9. 諸 収 入	1,974	1,484	490	7. 商 工 費	281	271	10
1. 延滞金, 加算金 過 料	342	342	0	1. 商 工 費	281	271	10
2. 町預金利子	450	300	150	8. 土 木 費	9,965	7,535	2,430
3. 雑 入	1,182	842	340	1. 土木管理費	3,015	3,438	△ 423
10. 町 債	22,900	5,900	17,000	2. 道路橋梁費	6,125	3,350	2,775
1. 町 債	22,900	5,900	17,000	3. 住 宅 費	825	747	78
歳 入 合 計	194,354	135,703	58,651	9. 消 防 費	7,533	6,593	940
				1. 消 防 費	7,533	6,593	940
				10. 教 育 費	63,944	40,463	23,481
				1. 教育総務費	6,221	5,394	827
				2. 天王小学校費	5,632	5,028	604
				3. 出戸小学校費	2,837	2,412	425
				4. 東湖小学校費	2,852	2,731	121
				5. 追分小学校費	1,915	1,627	288
				6. 天王中学校費	6,359	5,206	1,153
				7. 天王幼稚園費	1,763	1,493	270
				8. 出戸幼稚園費	1,215	844	371
				9. 学校給食費	3,590	2,620	970
				10. 社会教育費	31,136	7,105	24,031
				11. 保健体育費	424	6,003	△ 5,579
				11. 公 債 費	11,269	9,498	1,771
				1. 公 債 費	11,269	9,498	1,771
				12. 予 備 費	500	500	0
				1. 予 備 費	500	500	0
				歳 出 合 計	194,354	135,703	58,651

43年度のおもな事業

天王町の43年度当初予算が決まった。3月定例議会は、14日から各常任委員会で予算案を審議し、25日の本会議で一般会計、特別会計とも原案どおり可決した。

一般会計は総額1億9,435万4千円で、前年度当初予算にくらべ5,865万1千円の増、また、特別会計の国保事業は7,213万5千円で909万4千円の増、簡易水道業は368万9千円で11万5千円の減額となった。

43年度予算に計上された主なものは中央公民館建築費2,841万1千円、ゴミ処理施設整備事業費(ゴミ焼却炉10トン1基など)1,472万4千円、二田9号線(新町)舗装工事費180万円、長沼一追分2号線改良工事費150万円のほか、客土奨励事業費に合わせて110万9千円、小型動力ポンプ購入費(2台)に73万円、健康手帳交付に30万円などとなっている。

役場事務、役場職員に関するアンケートの結果

町では、町民へのサービスをさらに推し進めるため、このほど町民400人に対して「役場事務および役場職員に関するアンケート」を実施したが、そのうち男96人、女175人の合わせて285人(71.5パーセント)が回答を寄せた。

結果は次のとおり

①役場は、はいりやすいですか

- はいりやすい 95人 (36.8%)
- はいりにくい 111人 (43.0%)
不案内のため (32.5%)
建物のつくり方のため (30.6%)
役場というだけでなんとなく (27.9%)
- その他 (9.0%)
- なんとも思わない 52人 (20.2%)

②役場全体の感じはどうですか

- よい 58人 (22.3%)
- わるい 118人 (45.4%)
親しみがなくて (44.1%)
かたくるしくて (27.1%)
役所的で (24.6%)
その他 (4.2%)
- 普通 84人 (32.3%)

③係(机)の配置はどうですか

- よい 39人 (15.7%)
- わるい 141人 (56.9%)
用事が足しにくい (51.0%)
ややこしい (43.3%)
その他 (5.7%)
- いまのままでよい 57人 (23.0%)
- その他 11人 (4.4%)

④係であなたの用事はすぐ達せられましたか

- すぐ達せられた 136人 (58.2%)
- 達せられなかった 51人 (21.7%)
係が不勉強で (45.1%)
係がおらなくて (37.3%)
その他 (17.6%)
- 達せられたが待たされた 47人 (20.1%)

⑤職員の態度はどうですか

- よい 63人 (25.3%)
- わるい 90人 (36.1%)
生意気である (35.6%)
不親切である (34.4%)
横柄である (14.4%)
威圧的である (8.9%)
その他 (6.7%)
- 普通 96人 (38.6%)

⑥ことばづかいはどうですか

- よい 52人 (20.3%)
- わるい 64人 (24.7%)
ぶっきらぼうである (76.6%)
きたない (7.8%)
らんぼうである (7.8%)
その他 (7.8%)
- 普通 142人 (55.0%)

⑦職員の服装はどうですか

- よい 73人 (28.6%)
- わるい 77人 (30.0%)
不統一である (76.6%)
はでである (9.1%)
地味である (5.2%)
その他 (10.1%)
- 別に感じない 106人 (41.5%)

⑧税金、水道料、国民年金などを徴収に伺う職員の態度はどうですか

- よい 72人 (31.9%)
- わるい 45人 (19.9%)
礼儀を知らない (20.0%)
横柄である (20.0%)
ことばがわるい (17.8%)
なれなれしい (13.3%)
その他 (28.9%)
- 普通 109人 (48.2%)

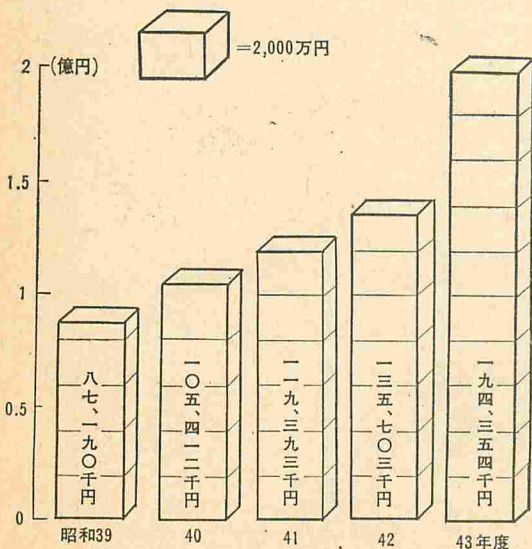
⑨集団検診や予防接種などで、あなたの部落へ伺う職員の態度はどうですか

- よい 123人 (51.1%)
- わるい 32人 (13.2%)
不親切である (43.8%)
手順がわるい (43.8%)
ことばづかいがわるい (3.1%)
その他 (9.3%)
- 普通 86人 (35.7%)

⑩現在、町長は事務室におるが、これをどう思いますか

- いた方がよい 192人 (79.0%)
職員がまじめに執務すると思うから (34.3%)
用事があるときすぐ達せられるから (29.2%)
なんとなく (9.9%)
その他 (26.6%)
- いない方がよい 16人 (6.4%)
助役がいるから (49.9%)
個別な話ができないから (25.0%)
きゅうくつだから (12.5%)
なんとなく (6.3%)
その他 (6.3%)

■一般会計当初予算額の推移



■43年度国民健康保険事業予算

区分	歳入	割合	区分	歳出	割合
	千円	%		千円	%
国民健康保険税	20,114	27.9	総務費	3,475	4.8
使用料・手数料	30	—	保険給付費	66,615	92.4
国庫支出金	49,139	68.1	保険施設費	1,681	2.3
繰越金	2,300	3.2	公債費	1	—
諸収入	552	0.8	諸支出金	1	—
			予備費	362	0.5
総額	72,135	100	総額	72,135	100

町長施政方針説明要旨

三月定例町議会に際して最近の町勢の現状を報告し、合わせて当面する諸問題について、私の所信を明らかにします。

本町をとりまく立地条件や国県経済の高度成長に伴い、町民の所得もしいに向上し、人口も他町村が軒並みに減少しつつあるにもかかわらず、本町は漸次増加しております。

本町経済の主体は、依然として稲作を中心とした農業であるが、農地の基盤整備、土壌改良、機械化など巨額の投資が必要であり、幾多の解決すべき問題が山積し、農政の前途はきわめてわがわしいものがあります。

また、地域開発の根幹である道路は、着々整備を進めているものの、いまだ立ち遅れており、特段の努力が必要であります。

43年度の重点施策

次に新年度重点事項の概要を説明します。

町職員への綱紀粛正

まず町職員の綱紀粛正であります。地方公務員であるという自覚と同時に、自分の任務と責任を考えるべきであります。

住民の税金で給料が支払われているという特殊事情からしても、勤務中は自分の生活のことより「町民へのサービス」を第一とし、一致協力の発展に尽くすべきであります。あすの天王町の建設は、民主的な明るい役場と民主的な親切的な行政があつてこそ、はじめて可能であると信じるものであります。

教育問題も、社会教育の充実

により町民意識が向上し、教育効果をあげておりますが、引き続き一段の工夫と努力が必要であります。

さらに、生活環境の整備、交通安全、青少年問題などに対する対策も、住民の要請にこたえるよういっそう強化してゆかなければならないと考えております。

人件費、経常経費を節減

本町の財政は、所得の向上とともに年々税収の伸びはありますが、反面、国や県の委託事務はますます増加し、人件費や経常経費を差し引くと、事業費は少なく、思うことこの半分も実現できない現状であります。

私は人件費、経常経費の節減に努め、あくまでも健全財政を原則として町政を施行し、苦しむ財政の中で創意、工夫をこらして、計画的に行政水準の向上をはかりたいと考えております。



施政方針を説明する 藤原町長

郷土発展へ一致団結して

農業関係

健康な稲作り対策に関しては、①地力の増強を計る土壌改良の推進②技術指導の一元化による栽培技術指導の徹底③七百五十キロ取り集団報償制度設置による集団研究グループの育成—を行なう考えであります。

土地の高度利用対策については、現在ビニール水田の個人造成を育成し、制度資金の利用を積極的に指導しておりますが、今後とも、県に働きかけると同時に、融資または補助制度を利用して、経営規模の拡大、未利用地開発を兼ねた集団ビニール

道路関係

本年度は、町道整備五ヶ年計画の三年目であり、農免道路の舗装は政府の財政硬直等の問題もありませんが、徐々に明るく見通しがたてられており、今後ともゆまゆま努力を続けて、本年度中には是非実現すべく堅い決意をもっております。

道路問題は、産業振興はもちろんのこと、日常生活、将来の町づくりなどの基礎となるものであり、将来の方針を誤らぬよう冷静なる判断を下し、国、県とも十分連携をとって計画的に実行する覚悟であります。

新産都市計画については申し上げます。本町の建設計画は四十五年度以降であります。私は指定以来県と連携をとり、用地の先行投資を依頼してきましたが、約二十万坪の県有地が本町に確保されております。県はこの土地の整備費を今年度予算に計上しており、前途は多少明るくなりつつある現状です。

工業開発は、本町にとって重点的に推進しなければならぬ問題であります。輸送、工業用水、消費地、冬期間の豪雪等の問題が中央企業の本県進出にはばんでおり、とくに、最近は

社会教育関係

社会教育の充実による町民意識の盛り上がりは驚異的であり、とくに、婦人による各種学級の研修、交流はめざましく生活につながる諸問題の解決や教養、知識の習得に努力しております。姿は誠にたのしく、子どもへの教育、町づくりなどに与える影響も大なるものがあり、これが育成にはできる限り力を注ぎたいと考えております。

また、永年町民から要望されておいた中央公民館の建設は当初予算に計上してありますが、町民ホールの新たな町民体育館の建設も、財政の見通しがつけば今年度中に建設したい意向であります。

青少年問題関係は、本町が今年度「青少年健全育成総合推進地区」に指定されるのを機会に、交通安全対策を兼ねた専任の職員を配置し、機構の整備改善をはかり、末端に浸透するような措置を講じる覚悟であります。

社会福祉関係は心配ごと相談所、社会福祉協議会、民生委員を中心に、老人クラブの育成や恵まれない人々を対象に施策を講じておりますが、財政事情により予算も少なく、各位の期待にそえない状態でもあります。恵まれない人が一人でも少なくなれば、町民共に明るく楽しい生活ができる環境をつくることは、私の最も念願とするところであります。今後の政策も期するところは町民の福祉向上をはかるものでなければ、意欲のない政策であることを銘記し、福祉行政に関しては今後でもできる限り配慮いたす覚悟です。

保健衛生関係

保健衛生に關しては、健康生活推進委員会の七部会による事業のほか、各種検診、予防の徹底を期する所存ですが、とくに本年度は「健康手帳」の交付による保健知識の向上や婦人の健康増進をはかり「長寿の町」健康を推し進める考えです。

また、環境衛生整備の懸案事項であったゴミ処理問題については、ゴミ焼却炉(約十トン)一基の建設を予定し、当初予算に計上してあります。

国民健康保険事業は、担税力のある被保険者の減少、老人の罹(り)病、受診率の比重増、医療費の増高等から保険財政は圧迫され、不安定な現状にあります。このため、本町もやむなく賦課率を約二十パーセント増としております。

郷土発展へ一致団結して 最後に、本町はいまや大きく変わりつつあり、また、変えてゆかなければならない幾多の要素が潜在しております。将来、無限の発展性を秘める「躍進天王町」を「夢多き郷土」に。わが天王町のあすはあけて町民各位の双肩にありませう。本町の青、壮年および婦人各位が、未来に向けて輝かしい理想を求め、真理と正義を愛し、一致団結して郷土発展のいしずえとなり、町のため貢献されるよう念願するものです。

